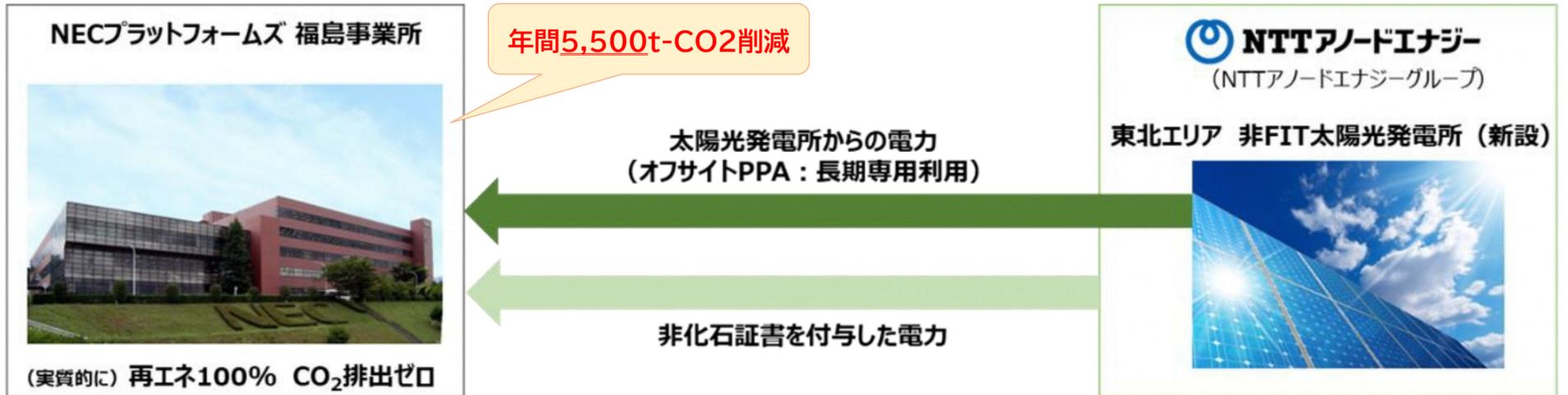


【グリーン電力化】

オフサイトPPAによる再生可能エネルギー電力の利用開始
(非化石証書含む)

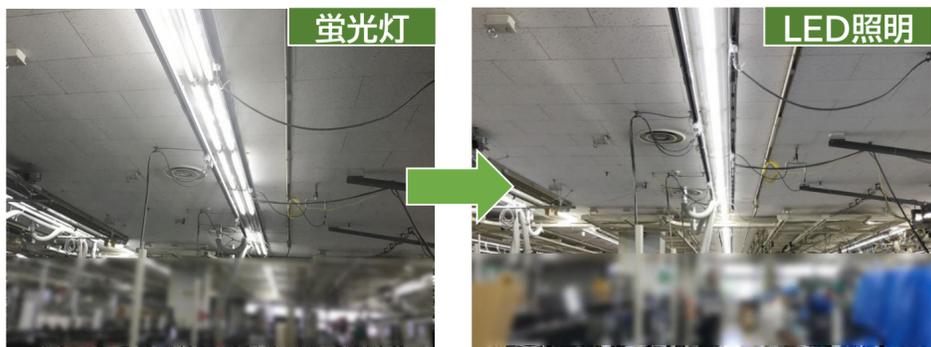


2024年6月より、オフサイト型コーポレートPPAの仕組みを導入し、NTTアノードエナジー株式会社が新設する太陽光発電所から再生可能エネルギー由来の電力の利用を開始しました。
NTTアノードエナジーから提供する再生可能エネルギーの総電力量は、約1,200万kWhとなる見込みで、オフサイトPPAによる太陽光発電及び非化石証書を活用することで、実質的に**100%再生可能エネルギーの利用を実現**します。
これにより、温室効果ガス排出量の削減効果(非化石証書含む)は、**年間5,500トン**の見込みです。

また、福島事業所では、NTT向け5G基地局装置を製造しており、将来的には、次世代光通信基盤「IOWN」に対応した装置の製造をすることで、「**再生可能エネルギーを使って、最小限の電力で省電力製品を生産し、お客様へ届ける**」ことを目指しています。

※IOWN:半導体の電子回路を光の回路に置き換え、**電力消費を大幅に削減する技術**

【照明器具のLED照明化】

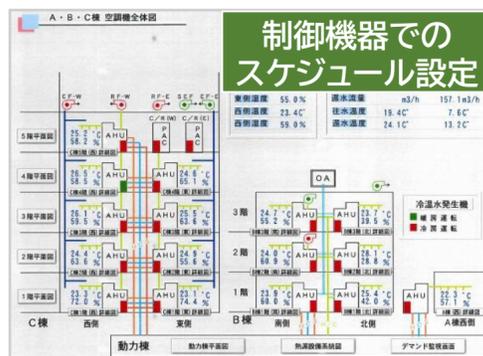


- ・総器具数: **4,482**
- ・2023年度までの更新器具数: **3,234 (72%)**
- ・2024年度更新予定器具数: **431 (82%)**
- ・残器具数: 817
- ・2024年度年間削減量: 72.3MWh (**35.3t-CO2相当削減予定**)

2023年度に事務フロア1か所と生産フロア1か所の照明器具のLED照明化を実施しました。
実施による温室効果ガスの排出削減量は、42t-CO2/年となり、現在の事業所内のLED照明率は、72%まで上昇しました。計画的なLED照明への更新を進めており、今後も残るフロアへ順次対応を進め、LED照明率100%を目指します。
今年度は生産フロア1か所を更新し、LED照明率は82%となる予定で、さらなる省エネルギー化を進めます。

※2026年度までに、LED照明率100%達成予定

【空調稼働申請制の導入】



日	07/07	07/08	07/09	07/10	07/11	07/12	07/13	07/14	07/15	07/16	07/17
月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
稼働	稼働	稼働	稼働	稼働	稼働	稼働	稼働	稼働	稼働	稼働	稼働
停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止	停止

開始: 2023年10月
年間削減電力量: 384MWh
(**187.4t-CO2相当削減**)

コロナ対策として24時間空調を稼働していましたが、5類移行及び、省エネルギー推進の一環として、休日及び平日夜間の空調稼働申請制を導入しました。
(11フロア 対象空調機数: 15機)
働きやすい環境を確保しつつ不要な電力消費を抑えるため、申請がないフロアは空調稼働を停止しています。きめ細かな空調運転を行い、併せて、人がいないフロアの消灯を徹底することで、消費電力を抑えることができました。
2024年6月からは、各フロア担当管理職の申請により必要性を判断し、過剰な稼働を抑えるようにしています。また、並行して省エネパトロールを実施し、申請された稼働時間と出勤状況や生産ライン、OA機器の運転状況を照合し、不要な機器の停止を確認しています。

【中学生職場体験】



職場体験



バックヤードツアー



環境教育

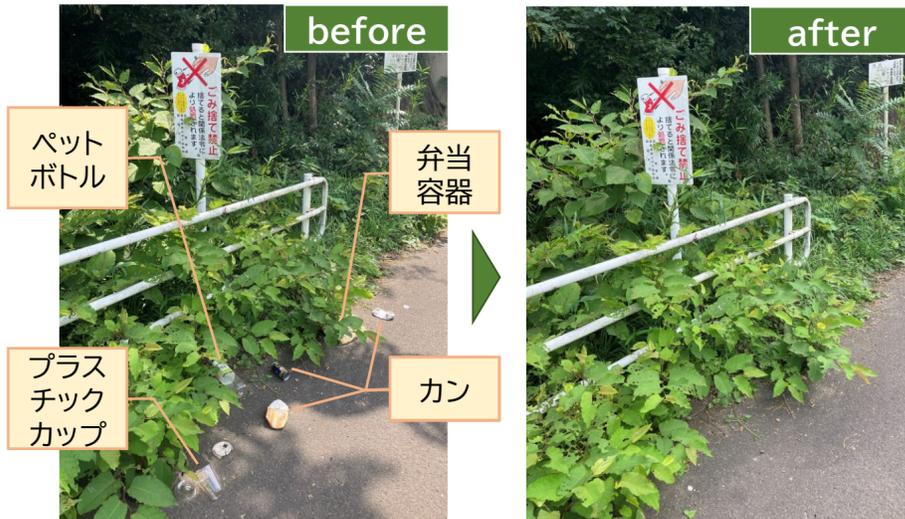
☆職場体験終了後の感想☆

- ・バックヤードツアーが楽しかった
- ・社員の方でも行けないところに行けて嬉しかった
- ・事業活動の裏で行っている環境整備に興味を持てた

2023年度に3年ぶりに、地域中学生の職場体験活動の受け入れを行いました。

プログラムの一部には環境リテラシーの向上と地域のリーダーとなる「人」の形成に資するように、環境教育・バックヤードツアーを実施しました。特に事業所内のインフラ設備を見学するバックヤードツアーが好評で、ものづくりの現場を支える環境の整備に関心を持っていただきました。今年度もすでに依頼が来ており、参加した中学生が職業体験を通じて環境を考える有意義な時間となるように実施して参ります。

【ふくしまきれいにし隊】



ふくしまきれいにし隊 腕章



事業所周辺道路のごみ拾いとして毎月クリーン運動を実施しています。周辺道路にはポイ捨てされたごみが多く、定期的な回収によってごみのない状態の維持に取り組んでいます。2024年7月からは、福島市が運営する「ふくしまきれいにし隊」に加入し、活動を開始しました。今後は福島市と協働してポイ捨てごみのない美しい環境づくりにさらに貢献していきます。

【廃棄物削減】

①除草物の活用



法面雑草刈り取り

グラウンド法面で刈った草を農地の肥料として再利用することで廃棄量を削減し、資源を循環しています。2024年6月には、この肥料で育った玉ねぎを収穫しました。廃棄物ではなく資源として有効活用することで、廃棄による温室効果ガス排出量とエネルギー消費量の削減にも貢献しています。

②廃プラスチック有価売却化



PSトレイ: 約**240kg**/年
(約20kg/月)
PSロール: 約**720kg**/年
(約60kg/月)

産業廃棄物として処理業者へ委託している廃プラスチックの一部を有価売却化することで廃棄量の削減に取り組んでいます。2022年度からPSロールの有価売却を実施し、今年度は排出されるプラスチックトレイの種類を調査・分類し、処理業者に確認しつつ有価売却を開始しました。

【TRENCYの森】



TRENCYの森リニューアルコンセプト

**明るく、
解放感のある空間**
(自然の癒しを感じる)



従業員が元気で働ける
自分の会社が大好きになる

TRENCY(トレンシー)の森は、「TREND OF ENERGETIC CYCLE:活気に満ちたエネルギーの循環を目指す」という意味で名付けられた、事業所内に約35年存在する森です。現状は草木が荒れ放題で暗い雰囲気のため、2024年10月にリニューアルオープンを予定しています。日光が入るように植栽を見直し、社員が自由に利用できる明るい森として生態系と生物多様性の保全に取り組んでいます。